



White Stone Journal



Newsletter by the ALTs of Shiroishi – 2018年10月号 Vol. 141

発行/白石市国際交流協会(白石市役所総務課内) TEL0224-22-1331 FAX0224-24-4861



特集:2018 オーストラリア友好親善訪問団

7月25日～8月2日

市内中学生派遣事業として、生徒6名と引率2名の訪問団が9日間の日程でオーストラリアを訪問しました。



8月号でもお伝えしましたが、姉妹都市であった旧ハースビル市が隣接市のコガラー市と合併したことにより今後についての体制が整わない等の理由で交流事業が行えないことから、今年度もオーストラリア友好親善訪問団として、日本と深い繋がりのあるニューサウスウェールズ州カウラ市への訪問となりました。今年も昨年と同校の、聖ラファエル・カトリック・スクールで1日体験入学し、学校の生徒のお家でそれぞれホームステイしました。



◆カウラ到着、そしてホストファミリーと対面！ドキドキの瞬間・・・(^)/

7月26日

訪問団のホストファミリーは全て、この学校に通学している生徒のお家です。今年は生徒一人に一家族を手配していただきました。昨年に続き今年もホストファミリーになってくれたご家族がありました。



Thank♥you・・・(^♪



●ホームステイで・・・●

- ・はじめは緊張して、どうしていいか分からなかったけど、すぐ打ち解けた。
- ・どんどん慣れていった。たくさん話せた。
- ・英語は少しずつ話せることができた。
- ・ホストファミリーと過ごした時間が良かった。
- ・ホストシスターに音楽を教えたら喜んでくれた。

●私立聖ラファエル・カトリック・スクールについて●

◎2018年度全校生徒数:420人

(幼稚園児から12年生まで)

◎中学・高等学校生:124人

(7年生から10年生)

◎8年生(中学2年生):38人

※学校のすぐ隣に教会があり、特別な日にはミサ(祭儀)を行います。



▲ギャラガー校長先生と…

▲副団長による山田市長の挨拶を代読



●ちょこっと、オーストラリアの教育システムについて●

オーストラリアでは、州政府(各州に教育省があります)が教育制度を管轄していて、州によって教育制度が異なります。オーストラリアの中学・高校は日本でいう中高一貫教育制度をとっています。10年生(Junior High School ジュニア・ハイスクール)までが中等部、11・12年生(Senior High School シニア・ハイスクール)が高等部です。義務教育は10年生終了時までで、多数の学生は大学進学希望者としてそのまま11年生と12年生に進学します。

学校の年度は、1月下旬から2月上旬に始まり、12月中旬に終わります。



オーストラリアでは学年の呼び方は、6年生以降も、7年生、8年生…と12年生まで続けた呼び方をするんだよ！

◆授業の様子

7月27日



授業を受けたクラスは同じ8年生のクラスで、数学・体育・日本語(日本の歴史を学びながら)の授業を体験しました。数学の授業では、進み方が遅いのか、白石の生徒が簡単に解くと「天才だ!」と言われたようです、笑笑(^_^)!

体育の授業でのドッチボールは日本とはルールが違ううえ、体操着に着替える生徒もいれば制服のままの生徒もいて、驚き!“なんて自由なんだ!”ランチの時間は、好きな場所で食べることができ、日中は暖かいので外で食べる生徒も多いです。白石の生徒たちはホストファミリーが用意してくれたランチを食べました♥



◆授業の時間割等について



時間割は、1限 50分授業が6時限あります。20分の休憩(recess)が2回あり、昼休み(ランチ)は40分です。

引率の団長と副団長は、副校長先生に校内を案内してもらった後、ウェルカムティのおもてなしを受けました。上級生が作ったサンドウィッチや、フルーツ、チーズ、ハムなどが用意されていて、他の先生たちと談笑しながらおいしくいただきました(^^♪

◆ホストファミリーを招待してランチ・パーティ@カウラ日本庭園

パフォーマンス披露

7月28日



この日は、あいにくの雨模様のため日本庭園での出し物披露は室内で行いました。ホストファミリーのほか、ギャラガー校長夫妻、キャシー先生*も来てくれました。グループ演目は、英語による寸劇交えた紙芝居”もたろう”。寸劇担当の男子チーム、ストーリーテラー担当の女子チームで頑張りました。特に寸劇は練習以上のパワーが出て小さいながらも笑いが起きました！その後は、3チームに分かれて茶道・書道・折り紙を紹介しました。ギャラガー校長先生の感想をここに記します。

「生徒ひとりひとりが立派な親善大使であることが証明されました。招待客をもてなすということで、熱い思いそして丁寧に自信を持って私たちにを見せてくれましたね。白石市を代表してきた、とても楽しく若い生徒のみなさんをお迎えできる特別な機会に感謝したいと思います。」



*キャシー先生は外国語担当の先生で、昨年に引き続き、白石市との連絡を担当、そしてホストファミリーを手配してくれました。



30日月曜日の朝、ホストシスター＆ブラザーと一緒に登校。校長先生たちの見送りを受けバスに乗り込み、カウラ市内観光へ出発。日本人捕虜収容所跡地や戦没者墓地を見学しオーストラリアとの歴史を学びました。その後シドニーへ！

31日は、自治体国際化協会シドニー事務所を訪問し海外での勤務、オーストラリアの現状や生活のこと等の貴重なお話を聴くことができました。午後は、街を散策。引率の二人には頼らず自分たちで道を尋ねながらホテルへ戻りました。

やったね！



●帰国して・・・●

- ・英語を通じて、人のやさしさを知り、人を学ぶ良い機会になった。
- ・ホストファミリーとの時間がよかった。別れはつらかったけれども。
- ・初めての海外だったが、どんどん慣れていって、英語も少しずつ話せた。
- ・オーストラリアとアボリジニの文化を知った。白石の人に学んだことを伝えたい。
- ・様々なことを学んだので、これから生かしていきたい。
- ・全てが初めてのことだったが、ひとまわり成長したと思う。
- ・訪問団の一員として世界に貢献したい。
- ・ひとりひとりが白石市の代表として頑張った。
- ・学校ではよくしてもらった。おおらかでフレンドリーなオージーの気質を知り、”コミュニケーション”の意味を知った。



「ホワイトストーンジャーナル」は白石市国際交流協会のホームページでご覧頂けます。
<http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/soshiki/1/1245.html>

10月特別編集号（近日発行予定）も是非ご覧ください。
 私たち ALT が訪問団員に英語でインタビューしました。(^_-) ☆

